国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

「世界の北海道」を目指して
ー北海道総合開発計画ー

平成３１年　１月１８日
帯 広 開 発 建 設 部

表彰団体決定！「わが村は美しくー北海道」運動

～帯広ブロックからは優秀賞１団体、奨励賞３団体が決定～

北海道開発局は、**「わが村は美しくー北海道」運動**（以下「わが村運動」）**第９回コンクールを開催し**、農山漁村における地域の活性化や個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、**帯広ブロックからは１０団体の応募の中、選考の結果、優秀賞１団体、奨励賞３団体を表彰することに決定**しました。

なお、全道では６１団体の応募があり、優秀賞１３団体、奨励賞２１団体を表彰することに決定しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見いだし、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成１３年から**２年に一度、開催**しています。（別添）

なお、来年度は、今回、表彰された全道の優秀賞１３団体の中から大賞を決定します。

１．第９回コンクールの概要について　　別紙１参照
２．全道の表彰団体の概要について　　別紙２参照
３．帯広ブロック受賞団体について　　別紙３参照
　優秀賞・・・北海道士幌高等学校　乳加工専攻班
　奨励賞・・・北海道帯広農業高等学校　食品科学科　地域資源活用班
　奨励賞・・・北海道士幌高等学校　環境専攻班
　奨励賞・・・株式会社なまら十勝野
４．帯広ブロックの表彰式について　　別紙４参照

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、ホームページに掲載しています。
https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/toti_kairyou/ctll1r0000001r6w.html

【問合せ先】　北海道開発局　帯広開発建設部　　電話（代表）0155-24-3192
土地改良情報対策官　　八柳　慎　（内線441）
土地改良情報対策官付　開発専門職　石坂　仁美（内線443）
帯広開発建設部ホームページ　http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/

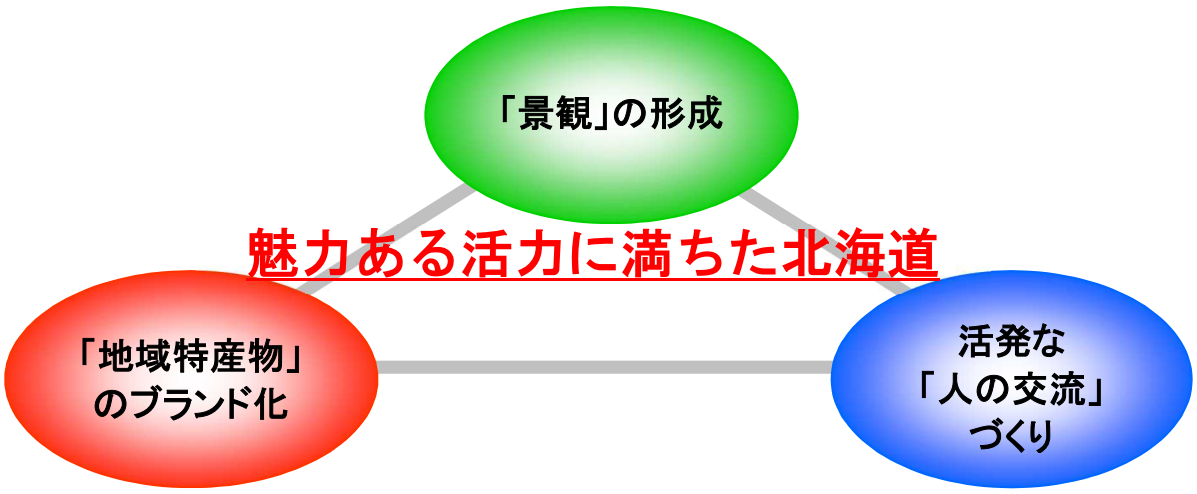
「わが村は美しく－北海道」運動とは

別添

Point

●北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成１３年にスタート
●道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動



【地域特産物】
地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

【人の交流】
地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

多くの方の協力と連携により運動を推進

支援・応援

北海道田園委員会
（学識者、民間企業、報道機関
地方自治体、生産者団体、実践者）

- 運動の推進のため、国土交通省北海道局に設置
- 道内外の有識者で構成
- 運動の円滑な推進に対する提言

第8回コンクール大賞受賞団体

北海道幌加内高等学校【幌加内町】
「そば」を活用した学びを通して、人づくりと地域づくりをうまく結びつけた活動に取り組む

十勝パンを創る会【帯広市】
「十勝パン」ブランドの確立を目指して、地域に根差した商品の開発に取り組む

- 参加しよう－中心となるのは、地域に住む人々　「地域の資源」を見つけよう
- 広げよう－活動の輪を大きく、自由に　地域の個性を競い合い高め合い
- 伝えよう－北海道の「いいもの」を、もっと外へ　地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

●コンクールの開催　←　「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
●地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

第９回「わが村」運動 コンクール

活 動 団 体

↓ ・応募（全道から61団体）

（１年目）現地調査、優秀賞・奨励賞の選考

↓ ・ブロック毎に応募団体の現地調査、及び審査を実施し表彰団体を選考
・優秀賞団体、奨励賞団体を決定

表 彰 式

H30年度

↓

（２年目）大 賞 の 選 考

↓ ・各ブロックの優秀賞受賞団体の中から大賞団体を決定

大 賞 表 彰 式

H31年度

多くの人に伝えるための取組

●**ＨＰへ掲載** http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html
→活動団体の最新情報を広く発信

●**メールマガジンの配信**
→活動団体への情報提供
→活動団体の最新情報を発信

●**ＪＲ北海道の車内誌**
→「THE ＪＲ Hokkaido」への掲載
（ＪＲ北海道の協力）

JR車内誌

●**地域イベントで活動ＰＲ**
→地域イベントに参加し団体活動を紹介

●**札幌「チカホ」でＰＲ**
→ﾃﾞｼﾞﾀﾙｻｲﾈｰｼﾞで放映
（札幌市の協力）

「チカホ」いいとこ撮り北海道

●**facebook(ﾌｪｲｽﾌﾞｯｸ)の取組** https://www.facebook.com/wagamura
→活動団体の最新情報を広く発信
（NPO わが村は美しく－北海道ﾈｯﾄﾜｰｸとの共同運営）

別紙１

平成３１年１月１８日
北　海　道　開　発　局

「わが村は美しく－北海道」運動第９回コンクールの表彰団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しく－北海道」運動では、平成１３年から２年に一度コンクールを開催しており、今年で９回目となります。
今回のコンクールには、全道から６１件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞１３団体、奨励賞２１団体を表彰することとしました。
表彰式は、本日以降、随時、表彰団体の応募先である各開発建設部ごとに行う予定ですので、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問合せください。

１．第９回コンクールの応募状況等について

(1) 応募件数
全道５９市町村から６１件（団体）の応募

(2) 審査経過
平成３０年　３月～　６月　募集
平成３０年　７月～１１月　全道１０ブロック※での現地調査
（ブロック審査委員会による全応募団体の現地調査）
平成３０年１１月～１２月　ブロック審査委員会での審査
（現地調査の結果から、表彰団体の選考）
※各開発建設部の所管を１ブロックとしている。

２．表彰団体について

(1) 優秀賞（北海道開発局長表彰）［１３団体 ］

- 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会　加工部会（江別市）
- 特定非営利活動法人　サトニクラス（月形町）
- 一般社団法人　ｉ・スマイル（今金町）
- 北海道真狩高等学校（真狩村）
- ふらのカレンジャー娘（富良野市）
- ＪＡとまこまい広域　厚真町ハスカップ部会（厚真町）
- 北海道中標津農業高等学校　マネージメント研究班（中標津町）
- 歯舞地区マリンビジョン協議会（根室市）
- 特定非営利活動法人　美しい村・鶴居村観光協会（鶴居村）
- 北海道士幌高等学校　乳加工専攻班（士幌町）
- 網走川土地改良区（美幌町）
- 株式会社　ＳＯＵＬ　ＯＢＩＲＡ（小平町）
- 豊富温泉コンシェルジュ・デスク（豊富町）

別紙１

(2) 奨励賞（各開発建設部長表彰）　［２１団体 ］

◇札幌ブロック［３団体］
・株式会社ふるさとファーム（札幌市）
・江別酒米栽培グループ「すいせい」（江別市）
・千歳市グリーン・ツーリズム連絡協議会（千歳市）
◇函館ブロック［３団体］
・谷観光農場（北斗市）
・七飯の食を考える会（七飯町）
・素敵な過疎づくり株式会社（厚沢部町）
◇小樽ブロック［１団体］
・ワインを楽しむ会（余市町）
◇旭川ブロック［３団体］
・第７４６なよろ煮込みジンギス艦隊（名寄市）
・中川町商工会（中川町）
・占冠村木質バイオマス生産組合（占冠村）
◇室蘭ブロック［１団体］
・北のなのはな会（安平町）
◇釧路ブロック［１団体］
・一般社団法人　音別ふき蕗団（釧路市）
◇帯広ブロック［３団体］
・北海道帯広農業高等学校　食品科学科　地域資源活用班（帯広市）
・北海道士幌高等学校　環境専攻班（士幌町）
・株式会社　なまら十勝野（芽室町）
◇網走ブロック［２団体］
・北海道東藻琴高等学校　農産加工班（大空町）
・小清水町ルバーブ生産グループ（小清水町）
◇留萌ブロック［２団体］
・るもい農福連携推進協議会（留萌市）
・上築有機米生産組合（羽幌町）
◇稚内ブロック［２団体］
・ワラベンチャー問寒クラブ（幌延町）
・稚内農業協同組合　稚内牛乳（稚内市）

（受賞団体名は順不同です）

表彰団体の活動概要（優秀賞）

ブロック	団体名	市町村	活動概要
札幌	江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会 加工部会	江別市	農閑期の11月～3月には、市内外から毎年3,300人程が訪れる「農家のかあさん土曜市」を開催している。「えべつかあさんブランド」としての加工品の認証、PRや商品開発にも取組んでいる。また、地元高校生の農業体験の受け入れや消費者との体験バスツアー、イベントの開催などの交流活動も継続して行っている。
	特定非営利活動法人　サトニクラス	月形町	ハンディキャップを抱えながら社会参加を目指す人々と共に、障害者雇用と農作業の受託による地域農業の6次産業化と農福連携に取組み、地元高齢者の知恵を生かした漬物づくりや乾燥野菜づくりを事業化している。夏季には農家と連携して直売所を開設したり、札幌市内へ出張販売を行うなど都市と農村の交流事業を行っている。
函館	一般社団法人　i・スマイル	今金町	平成29年4月、今金高等養護学校等の卒業生など障害者2名を職員として雇用。人口減少対策や地域経済再生を目的に、障害者に健常者と同様に業務を行ってもらうことで、障害があっても活躍できるビジネスモデルを構築し、多様な人材が活用できるまちづくりを目指す。業務として、農作業（ミニトマトやシイタケの栽培管理。収穫）や観光案内業務、お土産・地場農産物の販売業務を実施している。
小樽	北海道真狩高等学校	真狩村	小学生、生産者、企業、役場、教育委員会と連携し、今まで野菜がほとんど使われることのなかったスイーツ分野で、商品開発から販売までを高校生主体で行い、道の駅でカフェを運営。また、希少品種の大豆を小学生と栽培し、豆腐を製造。地元企業と農家と共同開発した豆腐ピザや豆乳プリンの販売。「野菜スイーツで村を元気に」を合言葉に、高校生パティシエが村の活性化事業に取組んでいる。
旭川	ふらのカレンジャー娘	富良野市	地産地消のご当地グルメ「富良野オムカレー」をツールとして、地域の持続的発展と活性化を図るため、①企業等と連携したオムカレーの試食提供、PR活動、②地元小学校等と連携した食育活動、③地元イベントでのオムカレー提供によるPR、④地元コミュニティカフェを借り、農畜産物を活用した富良野オムカレーを市民へ提供する、といった活動に取り組んでいる。
室蘭	JAとまこまい広域　厚真町ハスカップ部会	厚真町	厚真町ハスカップの販売振興及び産地をPRなどするため、対面販売・各種イベント・物産展への出展を実施していると共に冷凍ハスカップの賞味期限標記調査を実施している。
釧路	北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班	中標津町	地域の幼稚園、義務教育学校と連携を図り、計根別地域の全ての子どもたちを対象とした食農教育を展開し、学年に合わせ、畑作や酪農、食品加工など幅広い分野から「農業」に向き合うことができる活動を行っている。 今年度からは地域住民の「小さな地区に大きなｲﾍﾞﾝﾄを」という声に応え、計根別地域全体をハロウィンカボチャで飾りつける「計根別景観UP大作戦」を新たに実施している。
	歯舞地区マリンビジョン協議会	根室市	歯舞地域における将来の漁業振興と観光振興構想である「歯舞地区マリンビジョン計画」に基づいた多様な取り組みを展開し、水産業はもとより地域経済や社会の活性化を目指している。 特に歯舞水産物のブランド化を中心に位置付け、ブランド化への取り組みを通じた漁業振興、また、漁民泊や漁業体験、クルージング等を通じた交流人口の増加による地域の活性化に向けて関係者が一丸となって継続的に取り組み、活気のある漁村づくりを推進している。
	特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会	鶴居村	暮らすように旅をする”農村でのんびり過ごす”新たな旅のスタイル「農泊」の確立へに向け、丹頂や釧路湿原、酪農景観など豊かな観光資源がある鶴居村で、地域住民と連携を図りながら牧歌的な景観が広がる農村地域の産業や文化を活かし、住んでいる人との交流をする長期滞在型の新しい旅のスタイル「鶴居村版農泊」に取り組んでいる。
帯広	北海道士幌高等学校　乳加工専攻班	士幌町	士幌高校産牛乳を利用し、地域の魅力を詰め込んだ「ヌプカの雪解け」の開発と地域特産品化に取り組んでいる。地域特産品化へ向けた活動は、士幌町内に新たな会社「（株）CheerS」の立ち上げにつながり、町の課題である人口減少解消に向けた挑戦へと広がり続けている。
網走	網走川土地改良区	美幌町	「日本最東端の田んぼの学校」を町内に住む親子を対象に開催し、子供達に農業体験や自然観察を経験してもらうことにより、地域住民に地産地消、農村景観の保持、農業用施設の多面的機能等の重要性を伝えている。
留萌	株式会社　SOUL　OBIRA	小平町	道の駅おびら鰊番屋を拠点とし、地域商品・地元生産品の試食・販売や漁業者や農業者などと新たな商品開発を行うなど、町内外はもとより国内外に小平町のポテンシャルを周知させるための活動を行っている。
稚内	豊富温泉コンシェルジュ・デスク	豊富町	コンシェルジュ・デスクは豊富温泉の総合案内所として、湯治の相談を始め宿泊施設の案内などを行っており、湯治客の憩いと交流の場として、地元からの協力のもとで様々なイベントを企画している。

別紙２

表彰団体の活動概要（奨励賞）

ブロック	団体名	市町村	活動概要
札幌	株式会社ふるさとファーム	札幌市	札幌産野菜を打ち出し、主にハウスでミニトマトを栽培している。ふるさとファームを中心とした近隣農家との圃場を「野菜のなる公園」と称して、農業体験とビニールハウスなどでの調理体験を組み合わせた「実践型食育活動プログラム」を開催している。高齢者にボランティアで指導をしてもらうこと等の異世代交流もあり、地域の活性化に繋げている。
	江別酒米栽培グループ「すいせい」	江別市	安心・安全な美味しい江別のお米（酒造好適米「彗星」）で地酒を作りたい、との想いから立ち上げたグループ。地酒「瑞穂のしずく」の普及、宣伝のため、新酒発表会や聞き酒大会等のPR活動や、子供たちや消費者との農業体験、酒蔵見学、講演、圃場見学などを行うことで、農業への理解を深めてもらう活動に力を入れている。
	千歳市グリーン・ツーリズム連絡協議会	千歳市	新千歳空港から車で15分程度の所から広がる美しい畑や牧場の景観を活かして、千歳観光連盟と協力して主に道外の修学旅行生の受入を行っている。また、「千産千消」（地産地消）をコンセプトに、地域マップの作成、イベントへの出店、食育講座や交流パーティーの開催などの地域に密着した取組を10年以上継続している。
函館	谷観光農場	北斗市	観光と農業の町を知って楽しんでほしいという思いから始めている。 イチゴ、さくらんぼ、トマト、とうもろこし等の収穫体験を実施し、近郊の函館等だけでなく旅行会社を通じて外国人のツアーを呼び込み、地域の活性化につなげている。また、野菜や果物の直売、取れたて野菜のバーベキュー、食育インストラクターによる食と健康のアドバイスも実施している。
	七飯の食を考える会	七飯町	平成28年1月、「弁当の日」を提唱する竹下和男さんを招いて取組を開始。軍川小学校では作物の種まきや収穫などの農作業体験と併せて料理教室を学ぶ等の「食」をテーマとして一貫した学習活動を行っている。また、農家の畑や加工場の見学も行っている。 七飯の食を考える会としては、七飯町の食を料理体験と学びで深く味わいながら「食のふるさと」を大切にして人々が育つ街を目標に活動を行っている。
	素敵な過疎づくり株式会社	厚沢部町	過疎という現実から目をそむけることなく、マイナスイメージをプラス思考に切り替えていこうという趣旨で進めている。「厚沢部町ちょっと暮らし」を実施し、ゆったりした住宅に長短期で住み町民と交流してもらうことで、厚沢部町への移住促進を行う。また、道外大学のアウトキャンパススタディ・小学校の修学旅行誘致により、農業への理解と厚沢部ファンを獲得する。また、町の特産品「メークイン」を使ったコロッケ料理コンテストを実施し、町と特産品を全国にアピールするとともに、商品化して道の駅や東京のアンテナショップで販売することで、農業・地元経済の活性化に資することを目指している。
小樽	ワインを楽しむ会	余市町	余市産ぶどうを使用したワインの普及・拡大を進めるために、栽培農家有志により1993年から活動をはじめ、2018年2月で25回目。平成23年のワイン特区の認定により、ワイナリーの設立が相次ぎワインの種類が増え、毎年400名を超える参加者が来町し、チケットの入手が困難なイベントとなっている。ぶどう農家や醸造家との交流を求め、毎年道外から訪れるリピーターもいて満足度の高いイベントとなっている。また、地域の複数の団体が料理を提供しており、ワインを通して地域住民と連携し、地域活性化に役立つイベントとなっている。
旭川	第746なよろ煮込みジンギス艦隊	名寄市	名寄市独自の食文化である「煮込んで食べるジンギスカン」を活用し、「名寄」という地名を知ってもらうための宣伝活動、この食文化を広く市民及び子供達に伝えるための広報活動、名寄市立大学生を将来の「名寄のPR大使」として育成するための育成活動に取り組んでいる。
	中川町商工会	中川町	平成25年度に、中川町で作られた「ハスカップ」を使用した「ハスカップサイダー」を開発した事を機に、中川町のブランド「ナカガワのナカガワ」を発案。これに合わせて買い物袋や包装紙等も統一。平成28年には、東京にサテライトスペース「ナカガワのナカガワ」をオープンし、中川町をアピール。
	占冠村木質バイオマス生産組合	占冠村	「村木」の「カエデ」からメープルシロップを製造するとともに、メープルシロップづくりという他ではなかなか見ることのできない活動をツアー化することで、村に訪れる人を増やし、森林資源にあふれる占冠村の魅力を伝えている。

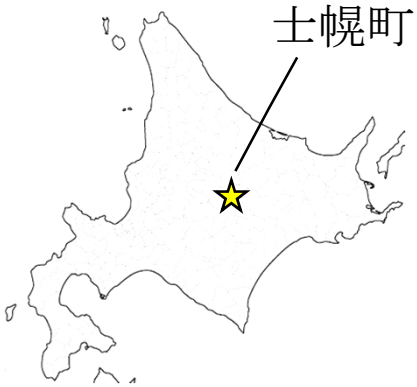
別紙２

表彰団体の活動概要（奨励賞）

ブロック	団体名	市町村	活動概要
室蘭	北のなのはな会	安平町	安平町の新たな観光地化、特産品の開発、菜の花残渣を用いたバイオマス燃料（バイオコークス）利活用の研究を主な取組みとし、食育教育の推進、菜の花関連団体との交流・情報交換、菜の花の景観を活かしたイベントの共催を行っている。
釧路	一般社団法人　音別ふき蕗団	釧路市	北海道開拓に貢献してきた特産品の蕗があり、近年富貴紙が着目されている。自生の蕗が絶滅の危機に立たされており、減農薬・無農薬の蕗栽培とその有効活用をすることで、雇用の創出、地域の活性化、高齢者の健康作りに取り組んでいる。
帯広	北海道帯広農業高等学校　食品科学科　地域資源活用班	帯広市	ビートの残渣から抽出される「ラフィノース」という難消化性のオリゴ糖を、豆乳を使ったヨーグルトに使用し、機能性食品の商品化を進めている。産・学・官・金融と連携し地域特産物になるべく完成度の高い商品開発を目指している。
	北海道士幌高等学校　環境専攻班	士幌町	士幌の原植生であり、学術的にも貴重とされているカシワ林の保全活動に取り組んでいる。カシワ林の現況調査や普及啓発活動、再生に向けての活動を行っている。
	株式会社　なまら十勝野	芽室町	「安心・安全・美味しい」を当たり前として安心して買って頂けるように、SNSや直接お客様と触れ合う機会を通して農家を身近に感じていただくよう情報発信しながら活動している。また、現場の作業を関係者に体験してもらう活動もしている。
網走	北海道東藻琴高等学校　農産加工班	大空町	オホーツク産小麦の魅力を発信するため、スイーツ等の商品開発を行い、ネット販売等を通して高校生ならではの地域農業への貢献、地域振興を図っている。
	小清水町ルバーブ生産グループ	小清水町	北海道内で生産例の少ないルバーブの栽培を手がけ、ジャムと冷凍チップの加工・販売を行い、町内イベントでの販売等の活動を通して、ルバーブのPRを積極的に展開している。
留萌	るもい農福連携推進協議会	留萌市	地域農業の労働力不足の解消と、農業生産現場における障がい者の就労機会の創出に向け、地域での障がい者等の就農支援体制の構築や、就農をサポートするための人材の確保、育成を図りながら、農業者と福祉関連事業者など、地域内外との様々な交流活動を行っている。
	上築有機米生産組合	羽幌町	農薬節減・有機肥料使用で栽培された「特別栽培米　おろろん」の生産及び直接販売や、「はぼろ学講座実行委員会」と連携して、減農薬栽培の学習や、特別栽培米水田の見学などを行っている。また、「羽幌シーバードフレンドリー推進協議会」に参加し、水田で害虫を補食する野鳥（海鳥）のフィールド調査などに協力している。
稚内	ワラベンチャー問寒クラブ	幌延町	年４回（自然観察会、カヌー体験教室、親子釣り大会、スノーモービル体験）の活動を行っている。日常の学校教育活動では味わえないような体験や夢と冒険，遊びの要素を満喫できる活動内容としている。
	稚内農業協同組合　稚内牛乳	稚内市	稚内牛乳製品の生産・販売、市内イベントでの牛乳の配布や商品販売、市内小学校等でのバター・アイスクリームの製造体験学習を行っている。

別紙２

優秀賞



ヌプカの雪解け

「わが村は美しく－北海道」運動第９回コンクール応募団体

北海道士幌高等学校　乳加工専攻班

【士幌町】

挑戦！「ヌプカの雪解け」が創る私たちの町しほろ

はじまりは？

士幌高校産の牛乳を使ったヨーグルトは地元に根付いていますが、お土産にするには保存期間が短いことや柔らかな形状から輸送が困難という課題がありました。

その解決策として、ヨーグルトを水切りしシーベリーやハスカップといった地域の魅力を詰め込んだ冷凍洋菓子「ヌプカの雪解け」の開発と特産品化に取り組んできました。

製造の様子

イベントの様子

おもな活動

６年目を迎えた活動は、地域に根ざす特産品作りとして「ヌプカの雪解け」の商品開発から始まり、本格的な地域特産品化へ向けた活動へと飛躍しています。

地方創生の一つとして「ヌプカの雪解け」をコンセプト商品とする新会社の設立へと繋げ、量産化に向けて動き出しました。 そこで「ヌプカの雪解け」を通して雇用が創出できるか検証しました。その結果、地域雇用が創出できるという結果を導きました。

また、地域のイベントや商談会等にも積極的に参加し、地域の特産品として「ヌプカの雪解け」そして「士幌町」を地域だけではなく全国へ発信しています。

これらの活動は、技術者としてのひとづくり、地域の魅力強化へ向けたまちづくり、新会社の創設によるしごとづくりへと繋がり、町の課題である人口減少解消に向けた挑戦へと広がり続けています。

ここが自慢

【ヌプカの雪解けで地域活性化】

地域における特産品開発の拠点として士幌町が内閣府地方創生加速化交付金事業を活用して創設した「株式会社ＣｈｅｅｒＳ（チアーズ）」の立ち上げに関わりました。士幌町では、「ヌプカの雪解け」を量産し、まちづくり・ひとづくりの柱とすることを決定しました。また、本研究を行った卒業生が新会社に就職し、今後の活動を共同で行うことになりました。

商談会の様子

商談会では食品バイヤーなどに「ヌプカの雪解け」と「士幌町」のＰＲを行いました。そこで、多くの企業から商談をいただくことができました。

連絡先

代表者名：近江　勉さん／設立：2013年／会員：13名

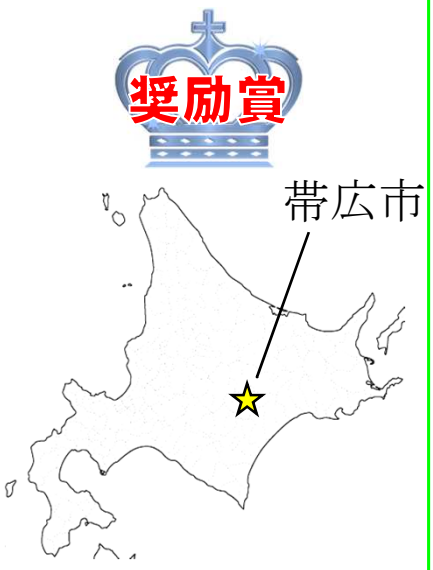
住　　所：河東郡士幌町字上音更21番地15

電話番号：01564-5-3121

ＦＡＸ：01564-5-4130

Ｅ－ｍａｉｌ：－

ＵＲＬ：http://shihoro-highschool.com/



ラフィノース配合の豆乳ヨーグルト

「わが村は美しく－北海道」運動第９回コンクール応募団体

北海道帯広農業高等学校　食品科学科　地域資源活用班【帯広市】

ラフィノース配合の豆乳ヨーグルトを開発

はじまりは？

十勝が生産量日本一を誇るビート。その残渣から「ラフィノース」という難消化性のオリゴ糖が抽出されビート関連企業で商品化されています。この地元の廃棄農産物を有効活用した機能性食品の開発は、環境保全と健康志向という時代のニーズに応えるプロジェクトであると考え、「ラフィノース」を使用した商品開発に取り組むことになりました。

おもな活動

オリゴ糖である「ラフィノース」は、腸内環境を整える助けをします。そこで、手軽に摂取できるようヨーグルトに配合することにしました。また、牛乳アレルギーやヘルシー志向への対応として豆乳を使用することにしました。

製造過程では、この活動をより充実させるため、帯広畜産大学や製糖会社等と連携し、「ラフィノース」や「腸内フローラ」などの商品に関連する講話をいただき、完成度の高い商品を目指しました。

試行錯誤の結果、「ラフィノース配合の豆乳ヨーグルト」が完成し、各種イベントや当校アンテナショップ「あぐりす」にて販売・モニタリング・普及活動をし、十勝企業での事業化を目指しています。

また、ヘルシーＤｏ認証についても取り組んでいます。

ここが自慢

【ラフィノース配合の豆乳ヨーグルトが完成！】

帯広農業高等学校オリジナルのラフィノース配合の豆乳ヨーグルトが完成しました。

豆乳の種類や糖類の配合割合、加熱温度など、条件の変化によって、味や色、粘度などが全く違うものになります。納得のいく味・食感を追求するため、連携している企業や団体の方々にご意見をいただきながら何度も改善に向けて試行錯誤を繰り返しました。

完成したヨーグルトは、イベント等で販売しお客様に高評価を得ています。

ヨーグルトの製造風景

連絡先

代表者名：二木　浩志さん／設立：2018年／会員：15名
住　　所：帯広市稲田町西１線９番地
電話番号：0155-48-2102
ＦＡＸ：0155-48-3052
Ｅ－ｍａｉｌ：－
ＵＲＬ：http://www.obino.hokkaido-c.ed.jp/

別紙３

カシワの実生調査

「わが村は美しく－北海道」運動第９回コンクール応募団体

北海道士幌高等学校　環境専攻班

【士幌町】

士幌の原風景　カシワ林を後世に伝えるために

はじまりは？

十勝のカシワ林は、内陸に位置することから学術的に大変貴重なものだと考えられています。そこで、士幌高校の敷地内に存在するカシワの純林をはじめとした町内のカシワ林を、士幌町の原風景として将来的に保全していきたいと考え、研究を開始しました。

カシワの実生採取

シードトラップの設置

おもな活動

士幌町の原植生であり、学術的にも貴重とされているカシワ林の保全活動に取り組んでいます。

はじめに、士幌町全域の現況植生図の作成とカシワ林の現況調査を行い、士幌町にあるカシワ林の状況を明らかにしました。

その結果を受け、カシワ林の自然度回復及び次世代育成を目指すことにしました。林床がミヤコザサに覆われていたことから、抑制試験を行いました。抑制試験によってカシワの実生が多数確認されるなど、効果があることがわかり、今後も試験の継続と実施規模の拡大を目指しています。

また、カシワ林の保全に向けて募金活動や、啓蒙活動、苗木の生産に取り組んでいます。

ここが自慢

【士幌町カシワ林の保全・啓蒙活動】

生徒自らが現地調査を行っています。士幌町全域の現存植生図を作成や、問題解決の糸口となったミヤコザサの抑制試験を行いました。引き続き、カシワ林の保全へ向けた課題を解明していきます。

また、保全啓蒙活動についても併せて行っていきたいです。

ミヤコザサ抑制試験

ＰＲキャラクター柏リン

連絡先

代表者名：近江　勉さん／設立：2013年／会員：６名

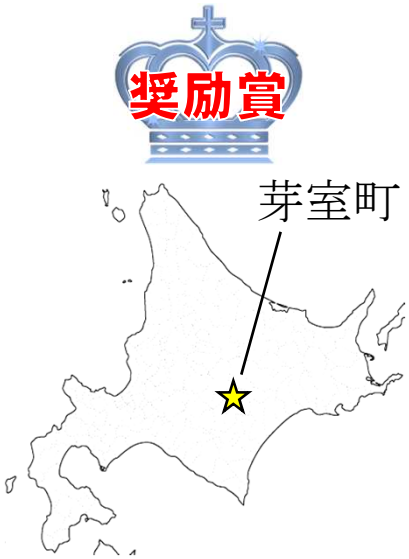
住　　所：河東郡士幌町字上音更21番地15

電話番号：01564-5-3121

ＦＡＸ：01564-5-4130

Ｅ－ｍａｉｌ：－

ＵＲＬ：http://shihoro-highschool.com/



株式会社なまら十勝野のマルシェ

「わが村は美しく－北海道」運動第９回コンクール応募団体

株式会社なまら十勝野
【芽室町】
なまらウマい野菜はいかが？

はじまりは？

当初、任意団体として４人で活動してきましたが、みんな想いを持って一緒にやっていこうという決意のもと、2016年に13人で組織化しました。

『受け継がれた生命の誇りを未来につなぐ』『全ての仲間と認め合い世界を笑顔にする』を理念とし次世代に受け継がれてきた命・農地・技術・誇りを未来に繋ぎ、食に関係する本気の仲間たちと認め合い連携して世界を笑顔にしていく活動をしています。

おもな活動

“『安心・安全・美味しい』を当たり前にする”を実行しています。独自の基準での栽培・食品分析・土壌分析や、ＪＧＡＰの取得を推進し、安全性を見える化しています。

また、お客様と直接ふれ合って安心して購入していただけるような機会を作ったり、ＳＮＳで農場や人、野菜について情報発信しています。

さらに、飲食店やスーパーの視察受け入れなど、現地での農作業を通し現場の作業や野菜の管理・収穫などを経験していただいています。

飲食店の農作業体験

ここが自慢

【なまらウマい野菜があります。】

“とても”という意味の北海道弁“なまら”と十勝平野の十勝、野菜の“野”を組み合わせてできた『なまら十勝野』

肥沃な十勝平野で育んだとっても美味しい野菜を全国の皆さんに届けたい。そんな意味が込められています。

十勝を代表するジャガイモ、小麦、ビート、豆のほか、ゴボウやレタス、キャベツなど様々な野菜作りにチャレンジしています。

独自基準として、①微生物を守るため土地消毒をしない。②農薬や化学肥料は最小限とする。③ＪＧＡＰ認証の取得を推進する。④「栄養価が高く、健康であること」を美味しさの定義とし、研究・追求する。⑤持続可能な農業にする。を掲げています。これらの基準で栽培された自慢の野菜は、地元のスーパーやマルシェ、イベントでの提供だけではなく、全国のスーパーへもお届けしています。

連絡先

代表者名：小山　勉さん／設立：2016年／会員：15名
住　　所：河西郡芽室町芽室南５線27番地
電話番号：0155-62-8166
ＦＡＸ：0155-62-8166
Ｅ－ｍａｉｌ：namaratokachiya@gmail.com
ＵＲＬ：http://namaratokachiyashop.force.com/

別紙４

「わが村は美しくー北海道」運動第９回コンクール帯広ブロック
表彰式開催概要

◎優秀賞

表彰団体	北海道士幌高等学校　乳加工専攻班
日時	平成31年１月21日（月）16：00～
会場	北海道士幌高等学校 （河東郡士幌町字上音更21番地15）

◎奨励賞

表彰団体	北海道士幌高等学校　環境専攻班
日時	平成31年１月21日（月）16：00～
会場	北海道士幌高等学校 （河東郡士幌町字上音更21番地15）

表彰団体	北海道帯広農業高等学校　食品科学科　地域資源活用班
日時	平成31年１月22日（火）16：00～
会場	北海道帯広農業高等学校 （帯広市稲田町西１線９番地）

表彰団体	株式会社なまら十勝野
日時	平成31年１月22日（火）10：00～
会場	株式会社なまら十勝野 （河西郡芽室町芽室南５線27番地）